

阿蘇の風

文責…後藤 昭

体験活動充実の9月

②1年生「キジの放鳥」で、自然のことを学んだり、生き物のぬくもりを感じたりしました。

9月13日水曜日、阿蘇みんなの森で、1年生が「キジの放鳥」を行いました。

キジの放鳥は、約10年ほど行われています。熊本県猟友会のメンバーが育てられたキジ約30羽ほどを放鳥しました。



初めに、会の方からお話をお聞きした後に、放鳥しました。

二人一組で、一羽の放鳥を行いました。子どもたちの中には、しっかりとキジをつかめる子もいれば、今まで触ったこともないキジが怖くて泣き出してしまい、キジににげられてしまった子もいました。逃げられてしまった子どもには、もう一度放鳥のチャンスがめぐってきた子もいました。2度目は、キジのぬくもりを感じながら、放鳥していました。

最後の感想発表も、多くの子どもたちが発表していました。本当の（本物の）体験することで、伝えたい思いが芽生え、伝えたい心地よくなる、そんな学習を繰り返したいと思えました。

県猟友会の皆様、ありがとうございました。



③高学年「クラブ活動」で、生け花を学んだり、演奏を合わせる心地よさを感じたりしました。

9月4日木曜日、クラブ活動において、地域の方をお迎えしてクラブ活動が行われました。

今回は、生け花とミュージッククラブを紹介します。



生け花名人の先生方は、衣装もバッチリ。毎回着物物でお越しになります。日ごろ元気な子も静かに集中して花を生けます。それぞれの個性を大事にされながらご指導いただいています。

ミュージッククラブでは、日ごろ使ったことのないドラムなどを教えていただき演奏しました。手と足を一緒に動かすのは難しかったです。ほかの楽器と音を合わせると、縁の下の力持ち役のドラムは、丁寧にリズムを刻んでいました。

地域の先生方、準備からご指導まで本当にありがとうございました。